

7 原材料使用額等

* 原材料使用額等は6兆2159億円で、前年と比較すると5843億円(10.4%)増加

(1) 原材料使用額等の推移

平成14年から従業者4人以上の規模の原材料使用額等の推移をみると、14年の6兆4441億円から減少傾向にある。

19年は対前年比10.4%増加し、14年と比較すると2282億円(△3.5%)の減少となっている。

(図20、表3、付表7)

(2) 産業別の状況

産業別にみると、「輸送用機械」が8659億円(構成比13.9%)で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が8551億円(同13.8%)、「情報通信機械」が8374億円(同13.5%)、「電気機械」が5194億円(同8.4%)となっている。

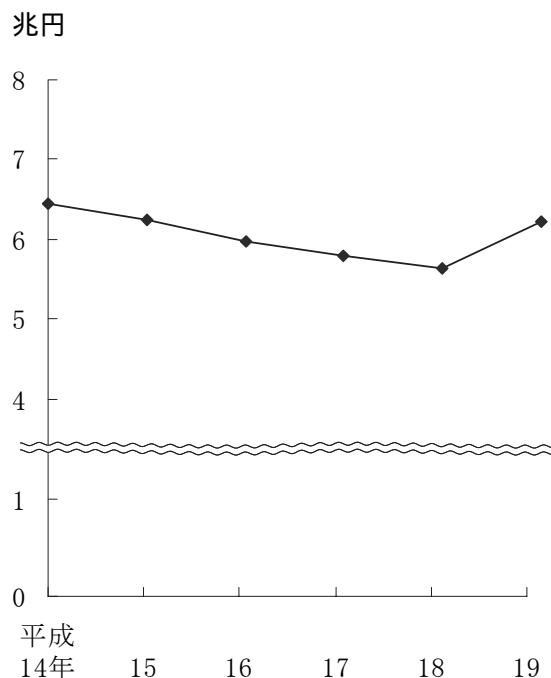
前年と比較すると、増加額では、「輸送用機械」が1686億円(24.2%)で最も大きく、次いで「電子デバイス」が1319億円(45.6%)、「情報通信機械」が878億円(11.7%)となっている。減少額では、「電気機械」が637億円(△10.9%)で最も大きく、次いで「飲料・飼料等」が22億円(△11.6%)、「印刷・同関連業」が15億円(△0.2%)となっている。

(付表7)

表3 年次別原材料使用額等
(従業者4人以上)

年次	原材料使用額等 万円
平成14年	644 407 248
15	623 643 646
16	596 100 575
17	579 606 210
18	563 161 701
19	621 587 971

図20 原材料使用額等の推移
(従業者4人以上)



(3) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆1695億円(構成比34.9%)で最も多い。

前年と比較すると、「50～99人」、「300～499人」を除きすべての従業者規模で増加した。増加額では「1000人以上」が1863億円(9.4%)、減少額では「300～499人」が170億円(4.0%)で最も大きい。

(付表8)

(4) 原材料率(従業者30人以上)

生産額に占める原材料使用額等の割合を示す原材料率は62.4%で、前年より4.4ポイント上昇した。

産業別にみると、「情報通信機械」が78.5%、「鉄鋼業」が73.3%、「精密機械」が72.7%で大きく、「飲料・飼料等」が20.2%で最も小さい。

(図21、付表10)

「原材料率」は、利用上の注意の「2 統計表及び付表の項目の説明(4)」参照

